

検査のパレット



今回はいま話題になっているユニバーサルワクチンについてお話しします

ユニバーサルワクチン とは？

国民全員がワクチン接種を受けることです。

ピンときませんが…

乳幼児の時に受ける定期接種です。自治体で費用を負担しているためほとんどの地域が無料で受けられます。ただし接種期間を過ぎると自己負担になることもあります。

ポリオ・BCG・日本脳炎・ヒブ・MR(麻疹、風疹)
三種混合(ジフテリア、破傷風、百日咳) など

メリット

- **流行(アウトブレイク)を阻止できる**
全員を対象としているので、集団内で抗体を保持している人が多いほど、感染の連鎖につながらない
- **重症化を防ぐ役割**

デメリット

- **コストの面で多くかかる**
自治体で費用を負担している
- **国民全員の理解が必要**
↓
十分な接種率を得られない

ちなみに任意接種のことを **セレクトィブワクチン** といいます。
自己負担(有料)で予防接種を受けたい人が対象です。

いまではユニバーサルワクチンである風疹ですが、昭和 52 年から 63 年まで中学生の女子対象に無料で予防接種されていました。当時の男子にはセレクトィブワクチン(有料)でした。しかし 2011 年関西で風疹が流行し始め 2012 年には関東に 2013 年には首都圏・関西圏に大流行しました。この時点で発症者は **20 から 30 代男性**が大部分でした。問題視されたのは妊娠初期に感染すると胎児に悪影響を及ぼすことです。

水ぼうそう・ムンプス・インフルエンザ
B 型肝炎・A 型肝炎・ロタウイルスなど

このことをふまえ、部分的に接種(セレクトィブワクチン)しても集団内では感染の連鎖は断ち切れないことがわかります。これでは流行を阻止できません。また免疫力がおちている場合、抗体価も下がっている場合は感染して発病する可能性もあります。重症化することもある…

ユニバーサルワクチン 重要!
だから無料接種がいい

でもコストは自治体負担?

次回は来年度あらたに B 型肝炎ワクチンがユニバーサルワクチンになる予定ですが、なぜユニバーサル化されるかお話しします。